

## 5月14日の「祈りと断食の日」について

2020年5月11日

教区の皆様

大司教 前田万葉

+ 主の平和

緊急事態宣言の中、聖母月を迎えています。皆様、自粛要請のもとでの生活が長くなっていますが、祈りのうちに一致しながら過ごしましょう。

さて、教皇フランシスコは、来る5月14日を祈りと断食、愛徳の業の日とし、すべての宗教の信者と精神的に一致し、人類が新型コロナウイルスの感染拡大を克服することができるよう神に助けを祈り求めよう、と勧められました。

これは、「人類の兄弟愛のための高等委員会（議長 ミゲル・アンヘル・アユソ・ギクソット枢機卿）」からの提案を受けたもので、同委員会はこのたび発表した声明の中で、新型コロナウイルスに世界の無数の人々のいのちが脅かさ

れているこの時、創造主なる神が人類をこの試練から救い、科学者らのこの感染症に打ち勝つための研究を助け、パンデミックによる医療・経済・人道的影響から世界を解放してくださるよう、断食と愛徳の業のうちに、願い求めるようアピールしました。

教皇様の勧めにしたがって、来る5月14日、各自の可能な範囲で、祈りと断食と愛徳の業につとめてくださるようお願いいたします。

以上